

群馬県

シニア災害ボランティア
シンポジウム開催報告

平成27年9月14日(月)、群馬県社会福祉総合センター大ホールにて群馬県と当協会主催による「シニア災害ボランティアシンポジウム」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して群馬県生活文化スポーツ部県民生活課の花崎次長と当協会の大竹理事長が挨拶し、続いて特定非営利活動法人レスキーストックヤードの栗田暢之代表理事による基調講演と各パネリストによるパネルディスカッションが行われました。



栗田 暢之 氏

特定非営利活動法人

レスキーストックヤード 代表理事

阪神・淡路大震災でボランティアのコーディネートを務めて以降、自然災害の現場で支援活動を展開。現場での学びを生かし、地域防災力の向上や災害ボランティアの育成等に尽力している。東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) 代表世話人、愛知県被災者支援センター長なども務める。

基調講演

13:40 ~ 14:40

「災害ボランティアの役割と課題」

特定非営利活動法人レスキーストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

パネルディスカッション

14:55 ~ 16:25

「災害現場でのボランティア活動と今後の課題」

【コーディネーター】

特定非営利活動法人レスキーストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

【パネリスト】

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

常務理事・事務局長 阿部 英一 氏

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

主任企画員 本藤 久道 氏

非営利団体 コミサボひろしま

代表 安永 智也 氏



基調講演ではボランティアの本当の必要性(被災者のニーズに沿った活動)と学生ボランティアの独自の発想による活動の素晴らしさ、またボランティアセンターの設立経緯や今後の課題について講演いただきました。

パネルディスカッションでは実際の活動現場での課題や平時の地域防災力向上への災害ボランティアの活用について各方面から貴重なご意見をいただきました。

今後のボランティアの在り方などを考えるうえで大変参考となる講演となりました。